

企業・地域と大学 “人財” のミスマッチ

…ワーキンググループにおける議論から…

平成 26 年 8 月

私学・高等教育課

項目	企業や地域の視点	大学の視点
求める人財像	基礎的な学力のない学生について、きちんと教育してほしい。 (義務教育段階を含めて)	学生に「……しなさい。」といっ ても、うるさがられるだけ。 こういう能力が必要であると話 しても、実感されない。
	尖った人財がほしい。	
	クリエイティブな人財がほしい。	
	チャレンジしない若者が多すぎ る。	
	夢をもってほしい。	
	企業は、専門性のある人財を求め ているとは限らない。 それよりも、本人の資質が大事。	
	コミュニケーション力説得力の ある人財がほしい。	
徳育が不足している。		
グローバル人財の 確保	海外に関心のある若者が入社し てこない。 関心のある若者は、グローバル企 業にとられてしまう。	意欲の有無の問題であり、大学で はなく、義務教育段階から意識付 けすべきである。
企業と学生の交流	現場を知っている若い企業人が 大学で授業をすることで、学びの 意識付けを図ってはどうか。	大学の OB 社員を招聘することは あるが、広がりがない。
	場の設定が、産学だけでは難し い。	若者の動機付けのきっかけとし て、企業の皆さんからの刺激を得 たいが、企業とのつながりが薄く 実施が難しい。
		社会について、教えてくれる人財 がほしい。
		中小企業の良さをもっと PR して ほしい。
		カリキュラム編成に企業の意見 を求めたい気持ちもある。
	義務教育段階等の早い時期から、 企業体験を積ませるべき。	インターンシップは効果的だが、 受入先の充実が必要。

項目	企業や地域の視点	大学の視点
		技術力のある中小企業へ学生を送り込みたい。
		海外でのインターンシップを実施したいが、受入先を探すのが困難。
地域づくり	グリーンツーリズムに取り組んだ時期もあったが、いつの間に下火になってしまった。	観光産業のあり方に課題がある。接客の悪さなどが目に付く。人財育成のひとつとして取り上げるべき。
		大学で、信州の良さについて教えてくれる人がほしい。
		女子大としては、女性を活用する社会であってほしい。